

四川省投資環境視察団派遣概要報告

日中経済協会上海事務所・成都事務所では、四川省商務庁からの要請を踏まえ、上海日本商工クラブの協力を得て、7月27日(水)から7月30日(土)までの間、四川省投資環境視察団を派遣した。日中経済協会では四川省人民政府との間で、経済・貿易分野における双方の協力を一層強化することを目的に2008年9月に備忘録を結んでいるところであるが、今回の視察団派遣もその備忘録事業の一環として位置付けることができる。視察団は日立造船株式会社海外事業推進本部大曾根正範担当部長を団長として、四川省商務庁の全面的な手配により成都、広漢、徳陽、宜賓等を訪れた。徳陽では本視察団との交流を目的に開催された「徳陽市投資環境説明会」に参加し、また宜賓では本視察団の宜賓訪問に合わせて開催され大勢の外国企業関係者達が集まった「四川宜賓臨港経済開発区産業協力商談会」に参加し交流を行った。併せて各地において経済開発区や開発区内の工場等を訪問した。



四川省略図（四川省人民政府ホームページ <http://www.sc.gov.cn/> より）

中国で日本企業が最も多く集まっている上海から見ると、一般に四川省を中心とする西部地域は「かなり奥まった遠いところ」という印象がある。事実、上海・東京間が2,200キロメートル程度であるのに対して、上海・成都間は1,800キロメートルと、上海を中心にして東京とほぼ逆の位置にある。一方、西部大開発政策の流れの中で、省都である成都以外の都市でも外資、特に日本企業を中心として産業移転の受け皿となり経済を発展させていこうとする動きが活発になりつつあり、各地の経済開発区では日本産業園というような構想を掲げてそうした動きに大きな弾みを付けつつある。今次視察団の派遣では、四川省の省都である成都市をはじめ、経済総量では四川省第3位であり成渝経済区の重要な構成要素である徳陽市や、また四川省、雲南省、貴州省の3省が交わり「万里長江第一城」の称号を持つ宜賓市などにおけるそうした動きを是非、直接日本企業の方々に見ていただきたいという四川省商務庁からの要請を受けて組織・派遣したものである。

今回、四川省商務庁として最も日本企業に理解を深めて欲しかったところは、成都以外の広漢や徳陽、宜賓といったこれまであまり外資が進出していない地域、中でも長江を通じて直接、上海や外国ともつながっている宜賓であったものと思われる。古くはシルクロードにおける要所として悠久の歴史を有する宜賓で

は、2009 年以來、四川宜賓臨港經濟開發区の建設が進んでいるが、視察団が訪れた宜賓港はその四川宜賓臨港經濟開發区の對外窓口として今後に大きな期待が寄せられているものである。以下、今次視察団の訪問先や関係イベントについてその概略を記載することとする。

■広漢

「成徳綿」ハイテク産業ベルトの中心に位置しており、南側 25 キロメートルに成都、また北側 19 キロメートルに徳陽を控えた交通の要所である。面積 538 平方キロメートル、人口 59 万人、三星堆博物館に代表される観光業が有名であるが、成都 30 分経済圏にある広漢経済開発区は 2007 年には「四川省産業移転引受優秀園區」、「四川省産業移転引受重点推薦特色工業園」に評されたのをはじめ、現在でも更にその建設が進んでいる。この広漢経済開発区では、「大プロジェクト・産業チェーン・産業集団」という発展戦略に基づいて、石油装備、製薬食品の 2 つの主導産業を大々的に発展させていくこととしている。

■徳陽

面積 5,954 平方キロメートル、人口 388 万人、経済総量では四川省第 3 位に位置している。2010 年の全市 GNP は 921.3 億元、財政総収入は 187 億元、一人当たりの都市農村平均可処分所得は 16,202 元、一人当たりの農民平均純所得は 6,486 元である。徳陽は中国重大装備製造業基地の一つに数えられており、今回工場を視察した中国第二重型機械集団公司や東方汽輪機有限公司をはじめ、東方電機、東方鍋炉、四川宏華等の国内でも一流の世界著名重装備製造企業を擁している。特に現在、全国の原子力発電所の約 6 割の関連部品、水力発電所ユニットの 4 割、火力発電所ユニットと蒸気タービンの 3 割が徳陽で製造されているほか、大型圧延設備と大型発電所鑄鍛造部品の 5 割、大型船舶用鑄鍛造部品の 2 割が徳陽において生産されており、発電設備の生産量では長期間にわたり連続して世界第 1 位の座にある。その他、石油ドリルマシン生産量でも全国第 1 位であり、また発電設備、大型鑄鍛造部品、石油ドリルマシン製造能力においても国際・国内において先進的な位置にある。

また国家新材料重要生産基地でもあり、金属冶金材料、高分子複合材料、精密化材料、バイオ医薬材料等部門における優勢が顕著である。電解亜鉛の生産量は 21 万トンに達し全国第 3 位であるほか、大型鑄鍛造製品の生産量は全国の 6 割以上を占めている。

■中国第二重型機械集団公司

製造基地 2 ヶ所(四川省徳陽市と江蘇省鎮江市)、技術センター 1 ヶ所(四川省成都市)を擁しており、視察団は徳陽市にある製造基地を訪問した。重要生産設備 6,600 台備え、大型溶解、鑄鍛造、熱処理、機械加工・組立等を行うほか、販売後のアフターサービスも行っている。1 度に上質鉄水を 900 トン溶解することが出来、優良インゴットを 600 トン、上質鑄物を 500 トン鑄造することが出来るほか、優良鍛造品を 400 トン鍛造することが出来る。また大型の複雑な部品の加工ばかりでなく、40 トンから 800 トンまでの製品を道路、鉄道、水運を使って運搬する総合輸送能力も備えている。更に品質保証体系は完璧であり、高エネルギー放射線傷探査室等の先進的な検査装置と技術を有しており、また既に ISO9000 も採用して、高品質の製品を供給することを保証している。50 年来、世界最先端の設備を導入して、中国の冶金、電力、水利、化学、自動車、航空宇宙、船舶、原子力発電、運輸交通、鉱山、セメント建物材料、農業、林業等産業のために大型の優良鑄鍛造品を大量に供給してきたが、自主設計による 160 メガニュートン水圧プレスを使って大型高品質鍛造品を製造することも可能である。近年では、製品構成の調整を重視しており、水素添加反応容器、風力発電用増速機、原子力発電製品等の新製品の開発にも成功している。自らの設計・製造・組立による

800 メガニュートン大型金型プレースの建設にも成功しており、今後はそれを活用して中国の航空、電力、石油化学等産業における製品製造能力を高め、大型飛行機に代表される航空産業をはじめ国防軍事工業、民用工業向けの大型金型鍛造品の需要を満足させることが出来る。

■宜賓

五糧液に代表される白酒の生産地として有名であり、四川省、雲南省、貴州省の3省が交わる位置にある。また金沙江、岷江が合流し「万里長江第一城」と称される。面積 13,200 平方キロメートル、人口は 540 万人、2010 年の全市GNIは 870.85 億元で四川省第 4 位である。四川省としてもその建設を重視している大規模コンテナバース・四川宜賓港志城作業区第 1 期工事は 2010 年 12 月 29 日に使用が開始され、年通過能力はコンテナ 50 万TEU、ロールオン・ロールオフ車輛 10 万台の長江6番目のハブ港、長江上流域最大のコンテナバースとなっている。また宜賓は鉱産物資源が豊富であり、既に確認されている鉱産物資源の種類は 44 種、内、石炭埋蔵量は 53 億トン、硫鉄 15 億トン、石灰石 5 億トン、天然ガス 600 億立米である。また開発可能な水力資源は 716 万キロワットにも達し、金沙江下流域水力発電総合開発重点プロジェクトである向家壩水力発電第一期ユニットが 2012 年に運転を開始することとなっているが、完成後の年発電量は 307.47 億度を予定している。

■四川宜賓臨港経済開発区

四川省でも唯一「臨港」というタイトルを付した省級の経済開発区であり、設立は 2009 年 12 月 18 日、全体計画面積は 193 平方キロメートル(四川宜賓港約 4.5 平方キロメートルを含む)、内、中心区域面積は 99.2 平方キロメートル、短期的には重点区 25.9 平方キロメートルを建設することとしている。計画人口は 15 万人。区内にある四川宜賓港志城作業区が開発区に水運の利便性を提供しているほか、港区から西南地域の重要鉄道である内昆鉄道(内江・昆明間を結ぶ全長 872 キロメートル)までを結ぶ専用鉄道の建設が間もなく開始されることとなっており、更に間もなく建設が始まる成貴鉄道(樂山・貴陽間を結ぶ全長 509 キロメートル)とも繋がることとなっている。

開発区の今後の発展方向としては、「1 区多園」の全体構造に基づき、2015 年における生産高 1,000 億元以上という目標に向かって先進設備製造、食品飲料、バイオ医薬、新材料、現代物流、現代商業貿易等の 6 大産業を中心として発展させていくこととしている。

■宜賓国際総合港

4 大港区(翠柏港区、南溪港区、江安港区、新市港区)、11 大作業区(志城、羅龍、塩坪壩、新発、豆壩、馬鳴溪、学堂壩、陽春壩、白沙湾、二龍口、新市鎮)より成り、港としては 75.7 キロメートルの岸を利用することが可能である。中でも志城作業区は四川省最大の総合作業区であり、建設用地総面積は 4.1 平方キロメートル、3,500 メートルの岸を利用し、23 個の 1,000 トン級バースを備え、コンテナ年吞吐能力は 300 万TEUである。北端には宜賓港公用型保税倉庫(6,000 平米)、そしてその東側には輸出監督管理倉庫(5,000 平米)を備え、双方の建設用地は 80 ムー(約 533.36 アール)である。コンテナ積場として 5,000 平米を備えるほか、総合事務所ビル、税関検査区、検疫処理区なども併設されている。またロールオン・ロールオフバースでは 500 メートルの岸ラインを利用し、総面積は 22 万平方メートル、内、駐車場面積としては 4 万平方キロメートルである。バラ積み用バースとして 2 つの 1,000 トン級バースが計画されており、年貨物通過能力は 200 万トンである。上海港務集団との連携による一期工事では現在既に 4 つのコンテナバース、1 つの重量物ロールオン・ロールオフバースと 1 つの作業船舶用バースが建設されている。また現在既に上海への船

船によるコンテナ輸送が始まっているばかりでなく、宜賓港から直接貨物を外国へも送りだしている。

■徐進・中国共産党宜賓市委員会常務委員、常務副市長、臨港経済開発区党工委員会書記、管理委員会主任による視察団との会見(7月29日晚)

徐常務委員・常務副市長は視察団を歓迎する旨述べた後、宜賓の経済社会発展状況や臨港経済開発区の基本状況についての紹介を行った。その中で宜賓が四川省、雲南省、貴州省が交わる優れた地理的位置にあり、資源が豊富で産業基盤がしっかりして発展の潜在力が巨大であること、また宜賓港は上海港の協力を得てその建設が進んでおり、長江を通じて外洋とつながっていることや、宜賓港がロールオン・ロールオフ機能や重量物バース機能、バラ積み機能など顧客の各種ニーズに対応したコンテナバースであり、このように機能が整っている港は国内でもそう多くはない点などが述べられた。また四川宜賓臨港経済開発区は四川省政府の批准の下、2009年12月18日に正式に設立され、四川省で唯一「臨港」をその名前に付けているところであり、開発区のみならず市街地も一体となって発展しつつある省級の開発区であること、中国共産党宜賓市委員会・市政府が確定した「4つの1,000億」実現を目標とした戦略的なプラットホームであり、長江流域開発の戦略的な支点、開発開放の戦略的なフロントであり、宜賓市の今後の発展に向けた新たな原動力であるという点が述べられた。そして少なからずの企業が宜賓の資源、地理的位置関係、港湾等の優勢に注目し、開発区設立1年あまりで現在既に20強の企業が進出し、今後引き続き大いに開発が進むところからより多くの企業の進出を歓迎する旨、発言があった。会見には杜柴平・中国共産党宜賓市委員会常務委員、政法委員会書記、臨港経済開発区党工委員会副書記、管理委員会副主任のほか、景世剛・宜賓市副市長、謝烈・宜賓市政协協商委員会副主席、市発展改革委員会主任、臨港経済開発区党工委員会副書記、管理委員会副主任他が同席した。

■宜賓臨港経済開発区産業協力商談会(7月30日)

本視察団の宜賓訪問に合わせて、四川省商務庁、宜賓市人民政府により開催され、日本、アメリカ、韓国はじめ中国国内44社の世界トップ500企業や多国籍企業、国際的な関連機構の代表が参加し開催された。会議では四川省黄小祥副省長からの祝辞が代読されたのをはじめ、四川省人民政府李家国副秘書長が挨拶を行い、商務庁謝開華庁長が宜賓の開放型経済建設についての紹介を行った。

呂曉宣・市共産党委員会常務委員、秘書長により代読された四川省黄小祥副省長からの祝辞では、宜賓市政府と四川省商務庁との共同開催による今次商談会の開催に際して、蔣巨峰省長の委託を受け謹んで四川省政府を代表してその開催を熱烈に祝賀申し上げるとともに、出席者への心からのご挨拶を申し上げたいとした。そして宜賓市はその独特な地理的位置関係や資源の優勢から四川省全体でも或いは中国西部地域全体としても率先して発展しつつあるところであり、四川省で初めて「臨港」を名前に付けた経済開発区である、また「港湾、開発区、都市」の連携した発展を通じて、四川経済発展モデル地区として都市と農村が同時に発展していく先行地域であり、臨港産業発展の先頭に立つ優秀地域であるとした。そして宜賓市が国際的にも国内的にも加速しつつある産業移転の流れをしっかりとつかまえて、大港湾に依拠して産業を発展させ、西部経済発展の新たな原動力となることを希望するとした。

また楊冬生・市共産党委員会書記、市人民代表大会主任はその挨拶の中で、宜賓市は長江上流域における資源が豊かで集まっている重要な工業都市であり、宜賓港は開港以来僅か1年で既に固定資産投資30.4億元、契約投資額150億元を実現しており、その基礎施設体系は日々改善され、産業受入能力は絶えず増強されていると述べた。そして宜賓国際総合港志城作業区では公用型保税倉庫・輸出監督管理倉庫が既に使用に供されており、国家級開発区に向けた申請作業は有効に効果を上げつつあり、都市建設は

素早く、長江と外洋とを結びつけた運輸が形成されつつあり、全面的に開放された安全で頼りがいのある投資の宝の地であると述べた。

更に李家国副秘書長もその挨拶の中で、中国共産党四川省委員会、四川省政府が新しいスタイルの工業化した新都市を統一的に計画し推進していく中で、宜賓臨港経済開発区は「港湾、開発区、都市」が連動して発展していくという新たな意味を付与され、宜賓市がこの新たなチャンスを生かして、積極的に国内外の重大産業の移転を受け入れ、工業経済の集中的な発展を促進して地域競争力のある現代産業体系を樹立し、四川省経済の素早い発展に対してより大きな貢献を果たすことを期待する旨述べられた。

■今次視察団についての四川省側関連機関ウェブによる紹介

四川省商務庁

<http://www.sccom.gov.cn/xxfb/priManager.do?behavior=pri&id=58468&lmbh=11040120&page=/page/commofny/pri.jsp>

<http://www.sccom.gov.cn/xxfb/priManager.do?behavior=pri&id=58445&lmbh=11040120&page=/page/commofny/pri.jsp>

徳陽市人民政府

http://www.deyang.gov.cn/dyweb/dy_gk_ld_show.asp?id=71869&url=JXU1RTAyJXU1OUQ0JXU0RTY2JXU4QkIwJTNCJXU2NzRFJXU1NDExJXU1RkQ3JTNCJXU0RTNCJXU4OTgxJXU2RDNCJXU1MkE4&#pagetop
<http://www.deyang.gov.cn/dyweb/showinfo.asp?bigclass=德阳动态&id=71869>

宜賓市人民政府

<http://yb.cn/publicfiles/business/htmlfiles/zgyb/ptpxw/201108/440751.htm>
<http://www.yibin.gov.cn/publicfiles/business/htmlfiles/zgyb/pybyw/201107/440712.htm>
<http://www.yibin.gov.cn/publicfiles/business/htmlfiles/zgyb/pybyw/201107/440700.htm>
<http://www.yibin.gov.cn/publicfiles/business/htmlfiles/zgyb/pybyw/201107/440699.htm>

日中経済協会上海事務所・成都事務所

所長 後藤雅彦

四川省投資環境視察団 主要日程

7月27日(水)

- 08:50 HO1119 上海虹橋空港～成都双流空港(12:00 着予定 四川省商務庁による出向かえ)
- 13:00～14:30 四川省商務庁歓迎昼食会(新会展中心順興老茶館2階1号室 省商務庁賈壯苗副庁長主催)
(近郊世紀城路88号成都世紀城天堂洲際大飯店2楼 TEL:028-8538-0008, 028-8538-0007)
- 14:30～17:30 成都国家高新技術産業開発区、成都総合保税區(省商務庁、成都市ハイテク区関係者同行)
- 19:00～ 成都日本商工クラブとの夕食懇談会 合江亭翰文大酒店
(個室名「牡丹」) 住所:成都市濱江東路138号 TEL:028-8882-2222)
(50音順・敬称略):
石川 文一(三菱東京日聯銀行(中国)成都分行)
大日向 浩(四川西科姆電子安全有限公司)
鹿子木 潔(トヨタ自動車株式会社 成都事務所)
木下 拓哉(日梱物流(中国)有限公司成都分公司)
成相哲郎(成都神鋼建機融資租賃有限公司)
森山 幹男(兼松電子(成都)有限公司)
矢部 律喜(伊藤忠(中国)集團有限公司 四川分公司)
(宿泊:成都シャングリラ大酒店 成都市錦江区濱江東路9号 TEL 028-8888-9999)

7月28日(木)

- 08:15～09:00 車にて広漢市へ移動(省商務庁同行)
- 09:00～10:00 広漢三星堆博物館視察(省商務庁、徳陽市、広漢市同行)
- 10:00～11:00 車にて綿竹市へ移動(省商務庁、徳陽市同行)
- 11:00～12:00 綿竹市年画村震災後復興状況視察(省商務庁、徳陽市、綿竹市同行)
- 12:30～13:30 ビジネスランチ(綿竹市により手配)
- 13:30～14:30 車にて徳陽經濟開發区へ移動(省商務庁、徳陽市同行)
- 14:30～16:00 徳陽經濟開發区視察(商務庁、徳陽市、徳陽經濟開發区同行)
中国第二重型機械集團公司、東方汽輪機有限公司
- 16:00～18:00 「徳陽市投資環境説明会」(徳陽太平洋國際飯店)

先方:

李向志・市共産党委員会書記、陳新有・副書記/市長、省商務庁賈壯苗副庁長、何明俊・副市長、
雷豊文・副秘書長はじめ、市内開發区、商務局、招商局、外僑弁公室などの責任者

次第:

参加者、来賓紹介

徳陽市紹介ビデオによる説明

李向志・市共産党委員会書記挨拶

陳新有・市共産党委員会書記/市長による挨拶

何明俊・副市長による市投資環境の説明

市經濟開發区李友成主任による徳陽經濟開發区投資環境紹介

視察団大曾根団長からの挨拶

視察団側発言(住友倉儲、上海新関電子、カネカ、広州住友、JETRO) 途中時間の関係で割愛あり

18:30~20:00 徳陽市政府歓迎宴会(徳陽太平洋国際飯店)

省商務庁、徳陽市指導者、徳陽市政府関係部門並びに開発区責任者

20:00 休息(宿泊:徳陽太平洋国際飯店 四川省徳阳市珠江东路8号 TEL0838-2908888)

7月29日(金)

08:00~12:00 車にて宜賓市へ移動(省商務庁同行、宜賓高速道路出口にて宜賓市関係者が出向かえ)

12:00~13:00 ビジネスランチ(翠屏山庄、省商務庁、宜賓市指導者等)

14:30~16:00 宜賓臨港開発区視察(省商務庁、宜賓市並びに宜賓臨港開発区同行)

■主として、宜賓国際総合港志城作業区(公用型保税倉庫・輸出監督管理倉庫、ロールオン・ロールオフ(roll-on roll-off)埠頭、コンテナバース)を視察

蜀南竹海視察(商務庁、宜賓市指導者同行)

18:00~19:30 宜賓市政府歓迎宴会(宜賓華榮酒店、省商務庁、宜賓市等指導者)

20:00~21:00 徐進・中国共産党宜賓市委員会常務委員、常務副市長、臨港開発区党工委員会書記、管理委員会主任による視察団との会見

(宿泊:竹海世外桃源度假酒店 宜賓市長寧県 蜀南竹海 TEL0831-4999999)

7月30日(土)

08:30~11:30 「宜賓臨港経済開発区産業協力商談会」(竹海世外桃源度假酒店)

省商務庁、宜賓市等指導者、宜賓市政府関係部門並びに開発区指導者

司会:呉光鏞・市共産党委員会副書記/市長

次第:

呂曉宣・市共産党委員会常務委員、秘書長による四川省黄小祥副省長祝辞代読

楊冬生・市共産党委員会書記/市人民代表大会主任による挨拶

李家国・四川省副秘書長挨拶

謝開華・省商務庁庁長挨拶

徐進・中国共産党宜賓市委員会常務委員、常務副市長、臨港経済開発区党工委員会書記、

管理委員会主任による宜賓臨港経済開発区計画・建設発展状況紹介

宜賓企業による協力希望プロジェクト紹介(五糧液集団、天原集団、絲麗雅、惊雷科技等)

世界トップ500社企業、多国籍企業による発言(日中経協、日立造船、鴻池物流、DBJI)

呉光鏞・市共産党委員会副書記/市長による会議総括発言

11:30~12:20 ビジネスランチ(場所未定、商務庁、宜賓市同行)

14:30 MU5268 宜賓菜坝飛行場(見送り:商務庁、宜賓市指導者など)~上海浦東空港(17:00着)

四川省投資環境視察団 名簿

		氏名		所属先	役職
1	団長	大曾根 正範	Osone Masanori	日立造船株式会社	海外事業推進本部 担当部長
2	顧問	三根 伸太郎	Mine Shintaro	日本貿易振興機構 上海代表処	所長
3	顧問	中村 仁	Nakamura Hitoshi	上海日本商工クラブ	事務局長
4	秘書長	後藤 雅彦	Goto Masahiko	日中経済協会 上海事務所・成都事務所	所長
5	団員	聶 澎	Nie Peng	日立造船株式会社 上海事務所	副所長
6	団員	松井 俊輔	Matsui Shunsuke	全国商工会連合会	上海担当
7	団員	古田 善也	Furuta Yoshinari	DBJI事業投資株式会社 上海代表処	首席代表
8	団員	関 重和	Seki Shigekazu	上海新関電子有限公司	董事長
9	団員	周 鳳祥	Zhou Fengxiang	上海新関電子有限公司	董事・総経理
10	団員	栗原 淳	Kurihara Jun	広州住友商事有限公司	董事長兼総経理
11	団員	浅野 秀喜	Asano Hideki	時事通信社 上海支局	支局長
12	団員	渡辺 啓太	Watanabe Keita	鴻池物流(上海)有限公司	総経理
13	団員	中尾 政司	Nakao Seiji	住友倉儲(中国)有限公司	総経理助理
14	団員	小出 貢	Koide Mitsugu	株式会社力ネ力 経営企画部	アジア統括拠点設 立準備室長
15	団員	武田 芳広	Takeda Yoshihiro	鐘化貿易(上海)有限公司	董事長・総経理
16	団員	矢内 雅章	Yauchi Masaaki	日本貿易振興機構 上海代表処	経済情報部 副部長
17	事務局	何 怡	He Yi	日中経済協会 成都事務所	常勤代表
18	通訳	藍 明鳳	Lan Mingfeng	視察団嘱託通訳	